



内部用研修資料

君を待つまち 熱田

令和3年4月
熱田区区政部企画経理室

熱田の理解を深めるため、熱田区役所職員向けの内部用研修資料として作成しました。
一般公開の許可が必要である等の理由により、資料の一部は省略しています。ご了承ください。



熱田の歴史

1 熱田の歴史



熱田の歴史：大昔の名古屋の海と陸地の図



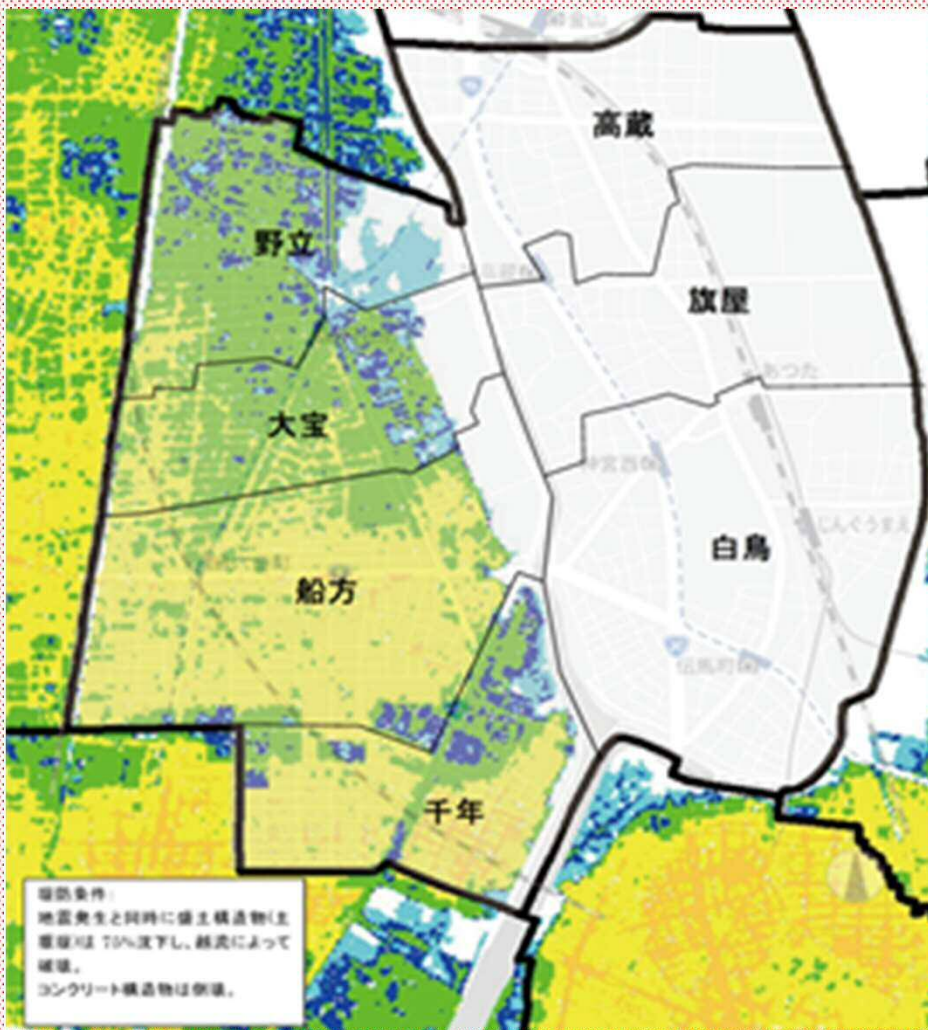
象の形に似ていて、
熱田は象の鼻の先っぽにあたる。

この鼻の所は、
熱田台地と呼ばれている。

一番北が、
名古屋城。



熱田の歴史：津波の浸水最大予想範囲との比較



熱田台地は
浸水被害が少ない



熱田の歴史：断夫山古墳



ヤマトタケルノミコトの死後、
ミヤズヒメが、
再婚しなかったことから、
夫を断つ山
「断夫山(だんぷさん)」
と名付けられた説がある。



熱田の歴史：白鳥古墳



ヤマトタケルノミコトの死後、
白鳥(しろとり)となって舞
い降りた地と伝えたとされ
る故事から、
ヤマトタケルノミコトのお墓
と言われている。



熱田の歴史：七里の渡し



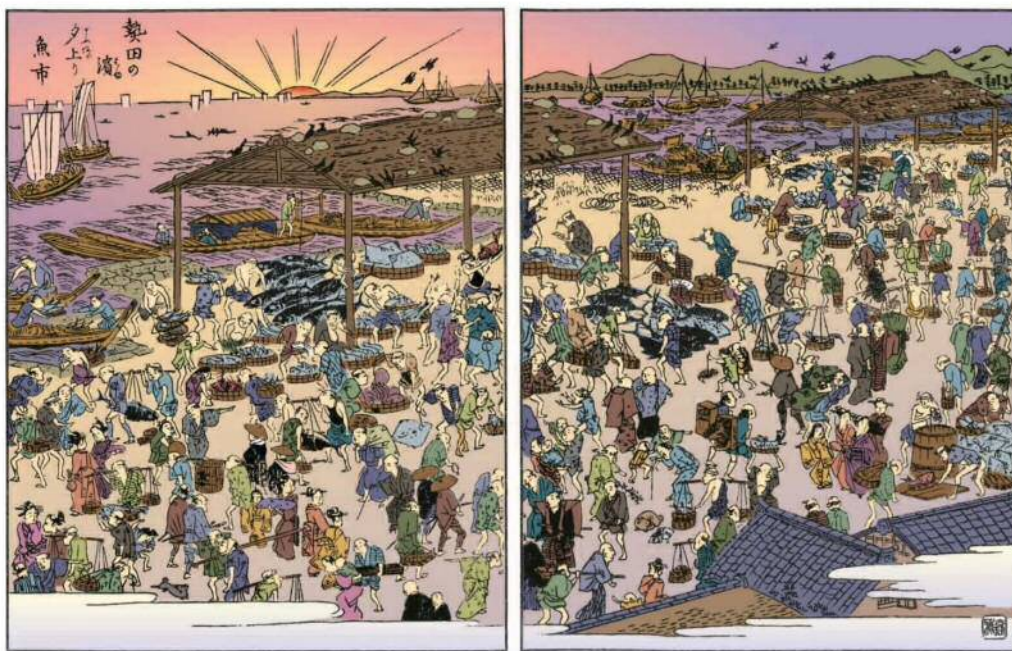
七里28km先の桑名の宿
まで海路でつながっていた。

東海道の唯一の海路。
東海道五十三次の
41番目の宿場町「宮宿」。
東海道最大の宿場まち。

尾張名所図会：一部加工・着色
名古屋都市センター所蔵
複製・転用禁止



熱田の歴史:「熱田の濱 夕上り魚市」



昭和24年に名古屋市中
央卸売市場ができるまで、
現在の大瀬古公園に
熱田魚市場があった。

尾張名所図会:一部加工・着色
名古屋都市センター所蔵
複製・転用禁止



熱田の歴史:「白鳥湊の図」



名古屋城築城のため、堀川が作られ、木曾などから木材が集まったことにより様々な産業が栄えました。白鳥貯木場。

木曾式伐木運材図会
林野庁中部森林管理局提供
複製・転用禁止



熱田の歴史:「白鳥貯木場」



少し前の白鳥貯木場。

昭和50年代頃と推察。
この写真の橋が、
御陵橋になるのは、
昭和62年3月。

個人情報保護のため、
画像編集しています。



熱田の歴史：熱田区誕生



森後町時代の旧熱田区役所庁舎(大正10年～昭和19年)

明治22年(1889年) 市制施行

明治41年(1908年) 区制施行

東、西、中、南区

昭和12年(1937年) 熱田区誕生

- ・二階建ての南区役所の一階を庁舎とした。現在の森後町。
- ・二つの区役所の看板。

昭和62年10月1発行「名古屋市 熱田区誌」参照



熱田の歴史:「熱田空襲」



昭和20年6月

航空機産業を中心とした軍需関連工場が多かったため、空襲で大きな被害を受けた。



熱田の歴史:「空襲跡の碑」



堀川の白鳥橋の近くにある、空襲の爆弾の破片によってできた。



熱田の現在

2 熱田の現在



熱田の現在：宮の渡し公園



宮の渡し公園（内田町ほか）

「七理の渡し」の船着き場として栄えた。

「時の鐘」、「常夜燈」も
当時のものを再現した。



熱田の現在：白鳥庭園



白鳥庭園（熱田西町）

築山を「御嶽山」、
そこからの流れを「木曾川」、
池を「伊勢湾」に見立てた。

熱田の現在：名古屋国際会議場



名古屋国際会議場（熱田西町）は、平成元年開催の世界デザイン博覧会のテーマ館を整備した。



レオナルド・ダ・ヴィンチが作り上げようとしたスフォルツァ将軍の騎馬像。

熱田の現在：熱田まつり(尚武祭)



熱田まつり

「尚武祭(しょうぶさい)」と呼ばれる、熱田神宮の例祭。

「尚武」は、武道、武勇を重んじること。6月5日に行われる。

令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

熱田の現在：名古屋あつた夢花火



令和2年8月11日 午後8時
名古屋あつた夢花火
名古屋国際会議場オアシス広場

名古屋あつた夢花火実行委員会
(あつた宮宿会・名古屋市)の
絵葉書から



熱田の現在：名古屋学院大学との包括連携協定



令和2年10月28日
熱田区役所と名古屋学院大学が
包括連携協定締結

写真左：因田名古屋学院理事長
写真右：木村熱田区長（当時）

熱田の魅力を一体的に配信するウェブサ
イト「熱田ブランド+（プラス）」を公開。

3 熱田ブランド



熱田ブランドシンボルマーク

君を
待つ
まち
熱田



— ∞ —
a t s u t a
b r a n d
j a p a n

鳥居をモチーフに熱田の歴史全体を表現。

熱田の杜の大楠の年輪が伸び、
atsutaの小文字の「a」を表現。

公有財産調書に記載。
普通財産、無体財産権、
「商標権 熱田ブランドロゴマーク」
1件519,860円



熱田ブランド宣言

1900年の歴史を持つ、悠久のまち 熱田。
交流・交易の要衝として栄え、ものづくりの伝統がねづき、
「あつた人」の誇りと愛が息づくまち、「君を待つまち 熱田」。

このまちを愛し、このまちを支えるすべての皆さまとともに、未来へと歩んでいきます。

- 熱田に受け継がれてきた、歴史・文化・自然をはぐくみます。
- 熱田を訪れる人を温かくお迎えします。
- 「あつた人」の誇りや想いを次世代へとつなぎます。
- 熱田の魅力を広く発信していきます。



熱田ブランド:金太郎飴



参拝者の皆様

あつた明日市にお越しいただきありがとうございます。

今年 平成29年は熱田区制が始まり80年の節目にあたります。

その事業の一環で 皆様への公募 投票により

熱田のシンボルマークができました。

あつた宮宿会では このシンボルマークを

広く皆様にご覧いただき

愛していただく為 飴を作りました。

ささやかなものですが どうか御笑納ください。

あつた宮宿会一同

平成29年

熱田区制80周年
に作った金太郎飴





熱田ブランド:「区長の部屋」の個人情報保護のため



本市公式サイト内の
「区長の部屋」において、
個人情報保護のため使用。

令和3年4月16日
区役所7階講堂
新型コロナウイルスワクチン
接種訓練





内部用研修資料

ご清聴ありがとうございました